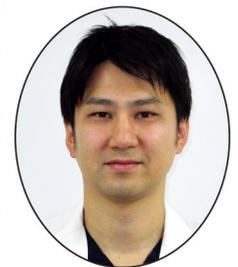




2024年度の抱負

副理事長 遠藤 仁



お話しさせていただきます。

先日診療報酬改定が発表され、今回は6年ぶりの医療・介護・障害福祉の同時改訂のため注目を集めております。今後日本は高齢化が進み、2040年には高齢者すら減少するという問題があり、それに伴い疾病構造も変化していきます。具体的には高齢者の大腿骨骨折や肺炎の割合が増加し、専門的な手術を要する癌などの割合は減っていくと推測されております。今回の診療報酬改定も高齢者医療に対応する能力を医療機関に求めてきている内容となっております。

当院に関係する分野としては①高齢者救急医療の受け皿となる事(肺炎や尿路感染症などCommon diseaseといわれる一般的な病気の救急対応、3次救急病院からの「くんだり搬送の促進)②和歌川苑老健や地域の介護施設との連携の強化(高齢者医療を地域のコミュニティで支え、治療をその中で完結する能力)③在宅療養支援病院としての訪問診療、訪問看護の強化(病院に入院するデメリットもあるため、病院での急性期治療を終えてからいかに慣れ親しんだ在宅での医療・看護に移行するか、「ほぼ在宅」ときどき入院の考え)④医療Dxの推進(マイナンバーカードの普及、全国で医療情報の共有化)などが挙げられます。これらは当院が今まで行ってきた事も多く、目新しい事ばかりではありません。当院は救急車受け入れ数も年々増加しており、昨年は500件/年を超える受け入れ数でした。訪問診療も提供しており、訪問看護ステーション「コスモス」と組んで訪問看護も提供しております。介護老人保健施設「和歌川苑」、サ高住「あけぼの」も併設しており、医療と介護をつなぐ居宅介護支援事業所「たんぼぼ」(ケアマネ)もあるため、連携もスムーズです。

今回の診療報酬改訂や地域医療構想を通じてこれから求められる医療・介護・福祉は幅広いサービスを提供できる当法人のようなオールラウンドだだと再確認しております。ただ診療報酬改定に踊らされるのではなく、大きな流れを伺って、当法人がなすべき「使命」は何なのかを見定め、それに向かって法人各部署として地域コミュニティが力を合わせる時だと感じております。

栄養サポートチーム(R-NST)がスタートしました!!

*栄養サポートチーム(R-NST)とは?

NSTとは、Nutrition Support Teamの略です。

当院のNSTは特にリハビリテーション分野に力を入れ、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士それぞれの視点から患者様の評価を行い、活動量upを目標にしています。

そのためリハビリテーション(Rehabilitation)の頭文字をとってRをつけています。



■ 医師



疾患に伴う食欲不振のため食事摂取が困難な患者さん、術後で栄養管理が必要な患者さん、嚥下機能が低下し経口摂取が困難になった患者さんなど、NST回診の対象となる患者さんにはいろいろなケースがあります。患者さんひとりひとりの病状や嗜好を考慮し、ふさわしい栄養補給方法や栄養管理の方法を提案するよう心がけています。

■ 管理栄養士



患者さんの食事摂取量を把握し、実際にどの位の栄養が摂れているのか、治療に必要と考えられる栄養量を満たしているのかを確認しています。食事が進まない患者さんにはベッドサイドで直接お話を伺い、食べやすくする工夫や嗜好に合わせた食事の調整を行っています。口から十分な食事を摂ることが難しい患者さんにも、その方に合った栄養療法を提案しています。

■ 薬剤師



栄養状態の低下した患者さんに対して、経口もしくは経消化管による栄養剤、糖質や脂肪・アミノ酸などが含まれた輸液等が投与される場合があります。その中には、お薬との相互作用を示す物や、患者さん個々で投与速度の変更が必要な物があります。薬学的観点から栄養剤や輸液の適正使用の向上に努めています。

■ 看護師



データ上の栄養状態だけではなく患者さんのもとへ伺い、関わりを通して感じた食事に対する思いを大切にしています。治療としての栄養管理だけでなく食べることへの喜びを患者さんと共感し、退院後の生活も考えながらチームに情報を提供し、その患者さんにとって、最も適切な食事や栄養補給ができるようにサポートします。

■ リハビリ



リハビリでは、患者さんの生活や運動量から活動量を評価しています。また摂食嚥下障害を有する患者さんに対して、安全に食事ができるよう食形態や摂取方法を評価し、情報提供を行っています。



各スタッフが研修を受け、資格を取得し、リハビリ栄養サポートチーム (R-NST) の活動を始動することになりました。毎週水曜日の15:00～ラウンドを行っています。

医師を中心とし、薬剤師は最適な薬物療法の提案、看護師は日常の関わりから患者様ご自身の希望や思いに寄り添い、管理栄養士は患者様がお食事をされている様子を観察します。

他職種で情報を共有し、検討をおこない、チーム一丸となり患者様に適した栄養状態・機能向上に繋がっていきます。

日本 ACLS 協会院内 BLS プロパイダーコース開催のご報告

- ◆ 開催日: R5年12月3日
- ◆ 場所: リハビリテーションセンター
- ◆ 参加者: 16名



BLSは心停止後の基礎です。BLSプロパイダーコースは全年齢層の傷病者に対する質の高いCPR（心肺蘇生法）を行うスキルを習得し、心停止を認識し迅速に救急対応システムの出動を要請するとともに自信を持って対応できるようになるコースです。当日はアメリカ心臓協会（AHA）の作成したビデオを見ながら熟練したインストラクターの先生方総勢9名により丁寧に指導していただきました。曙会職員16名がコース受講後、最後にテストを受けた結果、全員が合格しました。





外来診療担当医師案内

令和6年4月現在

区分		月	火	水	木	金	土
内科	午前一診(9:00~)	※西口 毅	※山本 秀之	※武内真知子	※太田 明廣	※濱西 徹	太田/医大 (第2・4)(第1・3・5)
	午前二診(9:00~)	※遠藤 仁	※井畑 淳子	※小川 洋司	※川口 素世	※院 長	
	夜間診察(17:00~)	太田 明廣	山本 直之	濱西 徹	西口 毅	遠藤 仁	
糖尿病専門外来	午前診察(9:00~)		※井畑 淳子	※濱西 徹		※濱西 徹	
血管外科	午前診察(10:00~)			遠藤 仁	遠藤 仁	遠藤 仁	
	午後診察(13:00~)	遠藤 仁		手術日	遠藤 仁		
外科	午前診察(9:00~)	★山本 直之					
整形外科	午前診察(9:00~)	山本 剛史	下菌 英史	山本 剛史	※医大	山本 剛史	山本/西 (第1・3・5)(第2・4)
	夜間診察(17:00~)		山本 剛史				
泌尿器科	午前診察(9:00~)		吉田 利彦	吉田 利彦	吉田 利彦	吉田 利彦	
眼科	午前診察(9:00~)	二出川 裕香	二出川 裕香	二出川 裕香	●二出川 裕香 安田 慎吾	二出川 裕香	雑賀 司珠也 田中 才一
	午後診察(14:00~)		■岩西 宏樹 西 晃佑		手術日	安田 慎吾 ^{注①} 二出川 裕香 ^{注②}	
乳腺外科	午前診察(9:30~)	※西口 春香	※西口 春香				
	午後診察(13:30~)		※尾浦 正二				
皮膚科	午前診察(9:00~) (受付は11:00まで)	※辻岡 馨 (受付 11:30まで)			神人 正寿		医大 (第2・第4)
血液内科	午前診察(9:00~)					※医大	
脳神経内科	午前診察(9:00~)		※医大				
	午後診察(13:00~)					※医大	
検査	胃(内視鏡)	○	○	○	○	○	
	大腸(内視鏡)		○		○		
	腹部エコー	○	○	○	○	○	
	心エコー	○	○		○		

眼科火曜日 午後診療は黄斑外来。「■」印の診療は第1・3・5岩西医師、第2・4 西医師。「●」印の診療は第1・3・5二出川医師、第2・4 安田医師。
 「注①」印は黄斑外来。「注②」印はコンタクトレンズ外来、第3のみ義眼外来。「※」印は基本的に予約制のため、予約優先となります。「★」印
 の診療時間は上記のようになっておりますが随時診療可能ですのでお気軽にご相談ください。皮膚科 ※の辻岡馨医師は5月1日からの診療に
 なります

小児科診療受付時間

担当医師/吉益 哲【日本小児科学会専門医】



診療受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30~11:30	○	○	○	○	○	○
15:00~16:00・予防接種(要予約)	○	○	△	○	○	△
16:30~18:30	○	○	△	○	○	△

医療法人 曙会 和歌浦中央病院

〒641-0054 和歌山市塩屋6丁目2-70 TEL.073-444-1600

メールアドレス jimukyoku@wachuohp.or.jp

ホームページ

和歌浦中央病院

検索

医療法人 曙会 施設一覽

医療法人 曙会 和歌浦中央病院



〒641-0054
和歌山市塩屋6丁目2番70号
Tel:073-444-1600
Fax:073-441-3101
Mail:jimukyoku@wachuohp.or.jp



和歌山バスで

JR和歌山駅発

●医大病院行き(雄松町三丁目経由)乗車
→和歌浦中央病院前下車：徒歩1分

南海和歌山市駅発

●医大病院行き または 和歌浦口行き
(ブラクリ丁・屋形町/本町二丁目・JR和歌山駅経由)乗車
→和歌浦中央病院前下車：徒歩1分

●海南駅前行き または マリーナシティ・海南駅前行き(城北橋経由)乗車
→津屋下車：徒歩10分

タクシーで

JR和歌山駅・南海和歌山市駅から約15分

グループ施設

介護老人保健施設 和歌川苑

Tel 073-446-2400
Fax 073-446-5100
住所 〒641-0055
和歌山市和歌川町5-44



訪問看護ステーション コスモス

Tel 073-448-2125
Fax 073-441-3105
住所 〒641-0054
和歌山市塩屋6-2-70



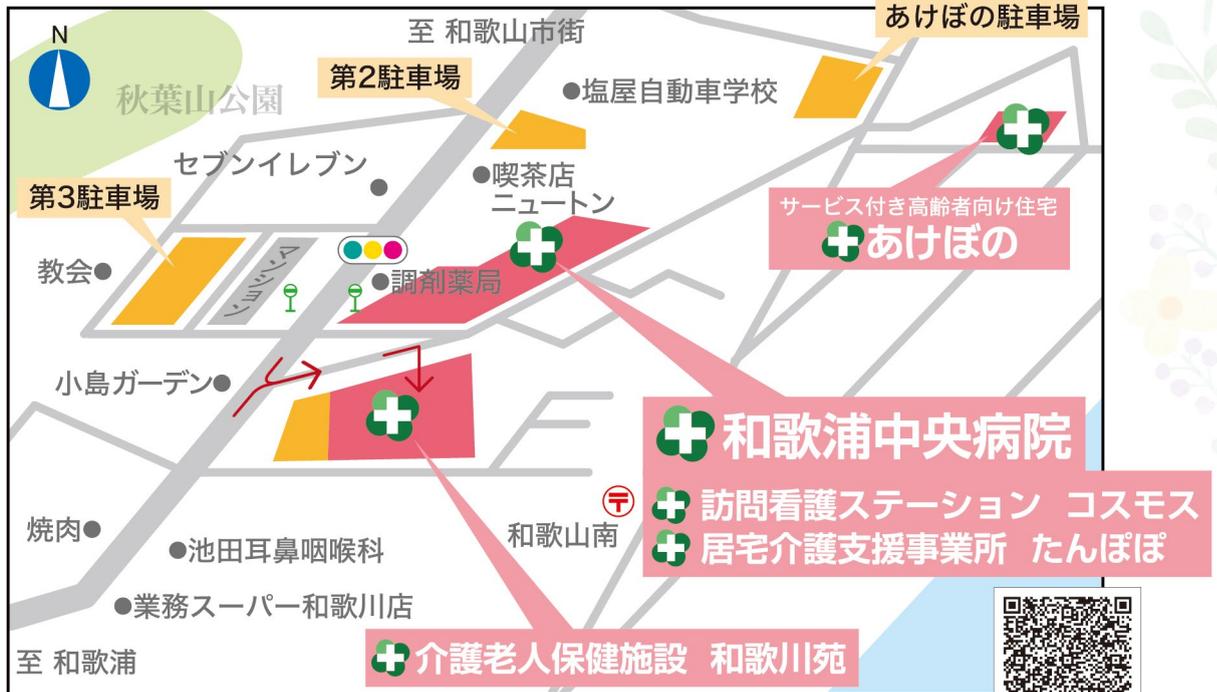
指定居宅介護支援事業所 たんぽぽ

Tel 073-448-6022
Fax 073-448-5258
住所 〒641-0054
和歌山市塩屋6-2-70



サービス付き高齢者向け住宅 あけぼの

Tel 073-444-2800
Fax 073-444-3015
住所 〒641-0055
和歌山市和歌川町3-1



理念 基本方針

地域の皆様から「親しまれ、信頼され、選んでいただける法人」を目指します。

- ・私たちは、患者さま利用者さまの立場に立ち、良質で安全な医療・介護・福祉の提供に努めます。
- ・私たちは、患者さま利用者さまの権利を尊重し、満足と納得いただける医療・介護・福祉の向上に貢献します。
- ・私たちは、地域の医療機関・介護福祉施設と連携し、地域住民皆さまの健康・福祉の向上に貢献いたします。
- ・私たちは、医療人・介護人・福祉人としての責任と自覚をもち、常に研鑽に励み、資質の向上に努めます。
- ・私たちは、和の心を大切にし、一致協力して、安定した経営基盤を持つ、働きがいと誇りのもてる法人をめざします。

■ 編集発行 曙会広報委員会 お問い合わせ先 073-444-1600